

言葉の壁を除去した 観光案内システムの開発

安全・安心

情報技術グループ 阿部 真也
TEL 03-5530-2540

特徴

言語を一切用いずに、観光スポットの検索や経路案内が可能なシステムを開発しました。対話型インターフェイスを採用することで、検索キーの入力の自由度が向上しました。この技術により、言語に頼らない情報システムを実現できます。

UIの構成要素

- ・ピクトグラム
- ・アラビア数字
- ・空間イメージ



図1. 言語を用いないシステム

- ・検索DBをテーブル構成ではなく、ネットワークとして構成
- ・観光スポットが「ノード」、スポット間の関連性が「リンク」に相当
- ・「リンク」を対話的に辿り、所望の「ノード」を探索

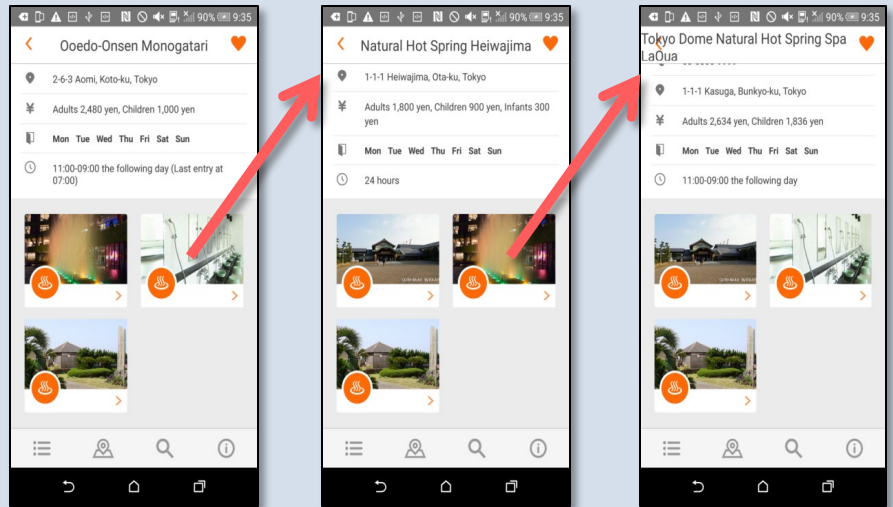


図2. 対話型の検索インターフェイス

従来技術に比べての優位性

- 主要な言語を知らなくても利用できる
- 言語に頼らないコミュニケーションができる

研究成果に関する文献・資料

- 阿部 他：情報検索システムの言語バリアフリー化，情報システム学会誌，Vol.14，No.2，pp.57-64（2019）
- Abe, S., et al.: A Tourism Information System with Language-Barrier-Free Interfaces for Foreign Visitors, Proceedings of the International Conference on Marketing and Tourism, pp.58-66（2017）

今後の展開

- 訪日外国人向けの観光案内システム
- 観光プランニングシステム
- コミュニケーション支援ツール

研究員からのひとこと

この技術により、言語に頼らない情報システムを実現できます。観光分野以外にも応用できるので、ぜひご活用ください。